

森から人へへ



2017年12月2日(土) 14:00 - 17:00
TKP 神田ビジネスセンター C702 会議室

「シシ荒れから見た森林」

田口 洋美

(狩猟文化研究所代表 / 東北芸術工科大学教授)

一般 : 1,000 円 / 会員・学生 : 500 円
森づくりフォーラム・森林社会学研究会主催
H29 年度 緑と水の森林ファンド助成事業

2017年12月2日(土)

シシ荒れから見た森林

今、森林率が7割り近くを占める日本のあちこちで、イノシシやシカ、クマといった野生動物が出没し、その生息数の増加、生息域の拡大によって「獣害＝シシ荒れ」という社会問題が発生しています。問題の背景には、森林の様相が変化するとともに、これら野生動物たちの生活も変化していることがあるように思われます。野生動物と人との関係から、今後日本の森林はどのように管理・デザインされていけばよいのでしょうか。マタギをはじめとした先人の狩猟採集活動を研究し、現在の野生動物保護管理問題についても研究をされている田口さんにお話しいただきたいと思います。

【講師】

田口 洋美さん（狩猟文化研究所 代表 / 東北芸術工科大学芸術学部 歴史遺産学科教授）



1957年茨城県生まれ。専攻は民俗学、文化人類学、環境学。20代半ばに映画製作スタッフから研究者へと転身し、中部東北日本の狩猟文化研究で業績をあげる。山と人と動物を知る異色のフィールドワーカー。豊かな森林が育む生物多様性を基盤とした先人の狩猟採集活動について歴史社会的な文脈を重視しながら技術や行動といった具体的視点から研究。近年はロシア極東、シベリア地域の先住民族研究や野生動物の保護管理問題などに着手している。

主要著作に『越後三面山人記 - マタギの自然観に習う -』『マタギ - 森と狩人の記録 -』など。

【聞き手】

松下 芳樹（NPO 法人森づくりフォーラム理事）

1992年に「どんぐり銀行」活動の創設に係り、香川県の水源地、早明浦ダム上流の高知県大川村で水源の森づくりに参加。第5回「森林と市民を結ぶ全国の集い」実行委員長。

【会場 MAP】TKP 神田ビジネスセンター 7F C702 会議室



住所・アクセス : 〒101-0053

東京都千代田区神田美士代町 3-2

神田アベビル 3～8F TEL : 03-5217-5577

- JR 山手線 神田駅 北口 徒歩 5 分
- 東京メトロ銀座線 神田駅 4 番出口 徒歩 6 分
- 東京メトロ丸ノ内線 淡路町駅 出口 B6 徒歩 3 分
- 都営新宿線 小川町駅 出口 B6 徒歩 3 分
- 東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 出口 B6 徒歩 3 分

(FAX: 03-3868-9536 森づくりフォーラム宛)

【12/2(土)シンポジウム】 森から人へ、人から森へ 森林社会学研究会 連続講座 第10回

<参加申込書>

ふりがな

TEL

氏名

Eメール

所属

懇親会

参加

・ 不参加

会員（該当するものに○）

個人会員

団体会員

非会員

コメント（あれば）

※上記のことが記されていれば、Eメール (office@moridukuri.jp 宛) でも参加申込みできます。